

●子どもの遊びに関わる大人の養成基礎講座(プレイワーク入門)

「世界一、子どもの笑顔が見られる仕事」

講師：天野秀昭さん



「遊びの本質」「子どもが遊ぶ環境」とは？市内外のプレーリーダー、教員、行政職員、子ども文化センター職員など子どもに関わるおとなや、研究者、学生、広く市民のみなさん、「遊びとは何か」「脳・心・体の発達と遊びのつながり」など、“遊ぶことの意味”について、一緒に考えてみませんか。

7/ 22 (土)	① 13:30~	遊びは「生きる力」の源 ~遊育という名の教育~
	② 15:10~	「育てる」子育てから「育ちを見守る」子育てへ ~子ども親を見直す~
9/ 2 (土)	③ 13:30~	子ども時代を思い起こす ~理想の大人、答えはあなたの中にある~
	④ 15:10~	子どもの声を聴く ~子どもの声にどう答える?~
10/ 28 (土)	⑤ 13:30~	遊びを保障する環境条件 ~創造的環境を生み出すために~
	⑥ 15:10~	自由に遊ぶことと責任問題 ~人の自立に深くかかわる問題~

会場：川崎市子ども夢パーク「多目的室」

定員：子どもの遊びに関わる大人など 30人

1コマ：90分 (①③⑤ 13:30~15:00、②④⑥ 15:10~16:40)

参加費：1コマ 2,000円、1日(2コマ) 3,500円、3日(6コマ) 9,000円

講師プロフィール

あまの ひであきさん

(NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会理事、一般社団法人プレイワーク協会 理事)

1958年東京都葛飾区生まれ。美術短期大学時代の造形教室で子どもと出会い、その後、自閉症児との出会いで遊びの持つ世界の奥深さと出会う。80年、始まったばかりの官民協働の日本で初めての常設の冒険遊び場「羽根木プレーパーク」で、1年間長期派遣ボランティアとして活動。翌年、職業プレーリーダー国内第1号として活動を開始する。世田谷区内はもちろん、全国に遊びの意義と実際の遊び場づくりを広めようと、各地の遊び場づくりの動きを支援してきた。プレーリーダー養成のためのプログラムの開発・実施のほか、日本で初めての子ども専用の電話「チャイルドライン」の開設・普及にも携わってきた。また、職業としてのプレイワーカーを日本に根付かせるために、一般社団法人「プレイワーク協会」を立ち上げ、本格的な人材養成の準備に入っている。

著書 『よみがえる輝く子どもの笑顔』/すばる舎 『子どもは大人の育ての親』/ゆじょんと 『遊びが社会を変える』/日本冒険遊び場づくり協会編

●主催 川崎市子ども夢パーク共同運営事業体

<内容>

①座学	遊びは「生きる力」の源～遊育という名の教育～
「遊ぶ」ことを通してでなければ獲得できない発達がある。それは、遊ぶことが「やってみたい」という衝動から始まる本人発であることと密接に関係している。大人がやらせたら、その瞬間からそうではなくなる「遊ぶ」という行為。その本質が何なのかを、脳の発達とも照らして学ぶ。	
②座学	「育てる」子育てから「育ちを見守る」子育てへ～子ども観を見直す～
ある子どもを「落ち着きがない」と見るか「好奇心が高い」と見るか、それは見る側の子ども観で大きく変わる。子どもは大人が育てないと人として育てないと見るか、子どもには育つ力が備わっていると見るかで、子どもへの接し方は全く違うものとなる。躰とは、教育とは、を考える視点を持つ。	
③ワーク	子ども時代を思い起こす～理想の大人、答えはあなたの中にある～
子ども時代の思い出には、心地よいものばかりではなく、切ないもの、悲しいもの、怖いもの、そしてとても嫌な思い出もある。その出来事の中で、周囲の大人はどう対応したのか。どのような大人の振る舞いが子どもにどう影響していくのか。自分の子ども時代を振り返り、大人としての態度に気付きを持つ。	
④ワーク	子どもの声を聴く～子どもの声にどう答える？～
実際の子どもの声を聴き、自分はどのような感情を抱くのか、それに対しどう行動するのか、何に気を配るのか、同じ声を聞いたほかの人は自分と同じなのか、違うとすればどこが違うのか、その違いは、相手の子どもにどういった感情を与えるのか、を深めることで、子どもと対話するトレーニングを行う。	
⑤座学	遊びを保障する環境条件～創造的環境を生み出すために～
少しでも子どもにとっていい環境を願う親をターゲットに、様々なグッズが商品化されていく。しかしそれらは本当に子どもの育ちに有効なのだろうか。子どもが育つうえで欠かせない環境のひとつは、遊びを保障する環境だ。遊びを保障する環境とは、一体何なのか。創造性あふれた環境について学ぶ。	
⑥座学	自由に遊ぶことと責任問題～人の自立に深くかかわる問題～
子どもを好きに遊ばせるとケガなどをするリスクが高まる。その責任問題をどう考えるのか。社会的に強まる傾向にあるこうした責任追及の風潮。なぜこうした風潮が起きているのか、それに対してどう考えたらいいのか、対処する方法はあるのか、子どもの自由な遊びをどう保障するのかを学ぶ。	

“世界一、子どもの笑顔が見られる仕事” 申込み書

NPO 法人 フリースペースたまりば 宛 FAX 044-833-7534

氏名： _____ 所属： _____

郵便：〒 _____ 住所： _____

電話： _____ () _____ FAX： _____ () _____

E-Mail： _____

参加コマに○をつけてください。

	①座学 (7/22)	②座学 (7/22)	③ワーク (9/2)	④ワーク (9/2)	⑤座学 (10/28)	⑥座学 (10/28)
申込み						

○申込みについて

FAX またはメールで申込みのうえ、下記の口座まで「世界一、子どもの笑顔が見られる仕事の参加費」と明記し、お振込みください。

・ゆうちょ銀行 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば
振込の確認がとれ次第、参加票をお送りいたします。また、先着順で締め切らせて頂きます。

お問い合わせ先 NPO 法人フリースペースたまりば
TEL 044-833-7562 E-Mail freespace@tamariiba.org